

The Japan Association of Radiological Technologists  
ネットワーク・ノウ

2020 No.538

# Network 10 / 1

Now

JART情報  
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会  
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1  
世界貿易センタービル31階  
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



## 2020年度 第5回理事会 (臨時) 開催される



2020年8月31日(月)午後7時より、2020年度第5回理事会(臨時)がWeb会議システムにより開催された。出席者数は24人であり、本理事会は成立した。

開催に先立ち、上田会長よりあいさつがあった。まず、会員情報システム(JARTIS)の更新に伴い、一部不具合が発生したことに謝罪が述べられ、現在は修正が完了し稼働していること、不具合の発生時にはその都度改修することが伝えられた。また会長会務として、他職能団体や各関係団体との懇談会を行ったことが報告された。日本医学放射線学会理事長ならびに日本放射線科専門医会・医会理事長とは、業務拡大の中でも読影の補助に関する前向きな意見交換があり、本会の関係委員会において活発に活動する方針が示された。

議題は、「本会事務所の移転について」「第36回日本診療放射線技師学術大会〈Web開催〉参加費について」であった。

「本会事務所の移転について」では、富田副会長より説明があり、移転先の事務所は東京都港区の三田国際ビルに決定した。第4回理事会(7月4日開催)において、「最低限必要

な面積(50坪程度)の物件への移転に見直すことが承認された経緯があり、改めて3物件の候補を現地調査も含めて検討してきた。現在の世界貿易センタービルは本年12月末までの退去が前提とされていたが、内装工事に関する条件付きであれば最長で2021年2月まで退去の延長が可能であり、当該先に移転が可能とされた。



三田国際ビル

「第36回日本診療放射線技

師学術大会〈Web開催〉参加費について」では中村勝理事より、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からWebによる学術大会を開催するに当たり、参加登録費について本年度の特例として次の通り提案され承認された。

- ・正会員事前参加登録1,000円、当日参加登録1,000円
- ・非会員事前参加登録2,000円、当日参加登録2,000円
- ・学生事前参加登録500円、当日参加登録500円

開催日は2021年1月8日(金)から1月31日(日)まで、参加登録期間は、事前登録が2020年10月5日(月)から12月17日(木)まで、会期中は2021年1月8日(金)から1月21日(木)までが予定されている。なお、コングレスブックは会誌12月号を予定している。

報告事項として、「医療被ばく低減施設認定における訪問審査の休止について」では小黒理事より、(1)新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、医療被ばく低減施設認定に係る訪問審査は2021年3月31日(水)まで休止とすること、(2)2019年度末ならびに2020年度末に医療被ばく低減施設認定の認定期限となっている施設は、暫定措置として認定期限を2022年3月31日(木)まで延長することについて説明がなされた。

「医療被ばくガイドラインの廃止(DRLs2020への移行)について」では小黒理事より、日本の診断参考レベル(DRLs2020版)への改訂により、国内における医療被ばくのスタンダードとして準拠するものとされるため、現行の本会の「医療被ばくガイドライン(診断参考レベルDRLs2015の公表を受けて)」の廃止について説明があった。

最後に、上田会長より閉会のあいさつがあり、本理事会は終了した。

詳細は、2020年度第5回理事会(臨時)議事録(抄)を参照されたい。

## JART-JSRT対談のライブ配信決定!

このたび、本会上田克彦会長と日本放射線技術学会（JSRT）白石順二代表理事による対談が行われることとなりました。本対談は、インターネットを利用したライブ配信での開催となりますので、多くの会員の皆さまにご視聴をお願い致します。

■テーマ：「日本診療放射線技師会と日本放射線技術学会の協力体制について」

司会進行：富田 博信

（公益社団法人日本診療放射線技師会 副会長）

■参加者：白石 順二

（公益社団法人日本放射線技術学会 代表理事）

上田 克彦

（公益社団法人日本診療放射線技師会 会長）

■配信日時：2020年10月15日（木） 19:00～20:00

■URL：確定次第、ホームページ上でご案内致します。

\*なお、収録した対談内容は、JART会誌（2021年1月号）に掲載が予定されています。

## 日本放射線科専門医会・医会理事長 来訪される

2020年8月18日（火）、日本放射線科専門医会・医会理事長の井田正博氏が、上田克彦会長にあいさつのため本会事務所に来訪された。上田会長は、関係団体との協議を開始し、本会としての役割を明確にしつつ、より強い関係性の構築に取り組んでいくことを伝え、放射線診療全体を盛り上げていくためにも、今後ともご指導いただきたいとあいさつした。



## 本会への入会手続きについて（お知らせ）

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ（<http://www.jart.jp>）から“新規入会はこちらから”をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL：03-5405-3612 E-mail：info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

INFORMATION

## 65歳以上の方の会費が8,000円になりました!

第79回定時総会において「会費等納入規程」の改正があり、2019年度中に65歳を迎える会員、および65歳以上の会員の方の年会費が8,000円になりました。2019年度の会費請求から実施しておりますので、お知らせ致します。

これに伴い、会費の終身免除（会費等納入規程第8条）は、5年間の猶予をもって2023年3月末日で終了致します。

なお、50年勤続表彰受賞者で35年以上継続している会員の方の年会費終身免除は、これまで通りです。

※会費の終身免除

第8条 25年または30年勤続表彰受賞者で25年以上継続して会員であり55歳以上の会員は、100,000円を本会に納付し、その旨を申請することにより、翌年度以降の会費は終身にわたって免除される。

INFORMATION

## 2020年度 第1回 JSRT-JART懇談会 Web開催される

2020年8月6日(木)午後3時より、日本放射線技術学会(JSRT) 執行部と、JSRT-JART懇談会が開催された。この懇談会は年2回、定期的に本会とJSRTが連携協議や情報共有のために開催しているもので、今回は新型コロナウイルス感染症対策として初のWeb開催となった。

本会から上田克彦会長、江藤芳浩副会長、富田博信副会長、児玉直樹副会長、中村勝業務執行理事、江端清和財務理事、上島隆事務局長の7人が、JSRTからは白石順二代表理事、奥田保男副代表理事、根岸徹副代表理事、梁川範幸業務執行理事(学術)、坂本博業務執行理事(企画)、岩永秀幸業務執行理事(広報・渉外)、中藺誠善事務局長の7人が出席した。

初めに、今回の開催当番団体であるJSRTより執行体制について、続いて本年6月より新しくなった本会の執行体制について紹介があった。

議題は、JSRTより今春の第76回日本放射線技術学会総会学術大会に関して、東日本大震災以来のWeb開催となり過去最多の5,274人の参加登録があったこと、今後のJSRT総会学術大会、秋季大会の開催予定、新型コロナウイルス感染

症対策を踏まえた学会の取り組みなどについて報告された。

本会からは2020年度・2021年度の組織構成、第36回日本診療放射線技師学術大会のWeb開催、2020年度JART-JSRT合同公開市民講座中止決定についての各報告を行った。

その後の議題で、JSRTから2017年に出された「JART-JSRT将来構想会議答申」、またその後の「答申実現化検討WG」について、今後の両団体としての対応・実現化について話し合った。また熊本で上田会長、白石代表理事の参加により開催予定であった「第14回日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会合同公開市民講座」の中止に関連して、今後の対応を検討した。

今後の両会の在り方については、学術大会共同企画、参加費、地域学術大会の開催、将来構想実現に向けて、また国際化対策・戦略について多くの時間をかけて議論が行われた。

議論は熱いながらも終始和やかな雰囲気の中で時間は過ぎ、お互いに出された議論を持ち帰り検討を進めることで一致した。

次回は、2021年1月ごろ開催の予定である。(江端清和)

## JART-JIRA新会長対談が行われる

2020年8月18日(火)、本会事務所において本会上田克彦会長と日本画像医療システム工業会(JIRA) 山本章雄新会長との対談が行われた。司会は本会富田副会長が務め、新型コロナウイルス感染症への対応状況や、医療におけるIT利用の展望について、それぞれの立場より今後を見据えたご発言を頂いた。

対談の内容は本会会誌で掲載予定である。冒頭、両会長の自己紹介もあり、われわれ会員が初めて耳にするようなエピソードなども語っていただいたので、ぜひご期待いただきたい。



## JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

INFORMATION

# 診療放射線技師のための フレッシューズセミナー 開催報告

## 岩手県

一般社団法人岩手県診療放射線技師会 会長 村上 龍也

岩手県診療放射線技師会は2020年8月30日(日)、盛岡赤十字病院記念講堂において日本診療放射線技師会との共催によりフレッシューズセミナーを開催した。

本セミナーは例年6月に開催していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で会場型の講習会などが見送られ、JARTの感染症対策ガイドラインに沿って行うことから、この時期の開催となった。参加者は新たに社会人となった診療放射線技師4人と、経験2~3年の技師3人の計7人であった。

午前の部は、盛岡赤十字病院看護部より講師を派遣していただき接遇・感染予防策などの講義。午後の部は、会員による病気の理解と題して講義を行い、社会人としての教育、医療安全や感染対策など、医療人として基本的な知識の習得に当たっていただいた。

最後に、日本診療放射線技師会および岩手県診療放射線技師会の紹介を兼ねて、入会案内を行った。感染予防策の講義中に、講師(杉村先生)に新型コロナウイルス感染症に関する問い合わせの電話があり、感染に対する緊張感のあるまさにコロナ禍中でのフレッシューズセミナーであった。

### 一プログラム一

- 接遇 9:00~9:30  
盛岡赤十字病院 看護部  
阿部 幸子 先生
- 医療コミュニケーション 9:30~10:00  
盛岡赤十字病院 看護部



マスク着用・ソーシャルディスタンスを取っての受講の様子

- 医療安全 10:15~11:15  
盛岡赤十字病院 看護部  
阿部 幸子 先生
- 感染予防対策 11:15~12:15  
盛岡赤十字病院 看護部  
杉村 明子 先生
- 病気の理解(胸部) 13:15~14:15  
岩手医科大学附属病院 中央放射線部  
阿部 俊 先生
- 病気の理解(脳・神経) 14:15~15:15  
岩手医科大学附属病院 中央放射線部  
岩城 龍平 先生
- 病気の理解(消化器) 15:30~16:00  
岩手県予防医学協会 医療技術部 放射線課  
村田 宗二 先生
- 入会案内 16:00~16:30  
岩手県診療放射線技師会  
会長 村上 龍也



病気の理解(消化器)の講義

### 《参加したフレッシューズ》

- 布田 哲也 盛岡赤十字病院
- 菊池 早紀 岩手県予防医学協会県南センター
- 谷村 恵里佳 岩手医科大学附属病院
- 佐藤 裕矢 岩手医科大学附属病院
- 五十嵐 泰 岩手県予防医学協会
- 小笠原 和美 岩手県予防医学協会
- 千田 佳緒 岩手県立二戸病院

## 埼玉県 (Web開催)

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 常務理事 (総務) 結城 朋子

5月に開催を予定していた「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」が、新型コロナウイルス感染症の影響により会場に受講者を集めて行うことができないため、初のe-ラーニング講習会として開催した。

当初は、受講期間を設けず1日で終了する形式も検討したが、会場に集まって1日過ごす形式とは違い、Wi-Fi環境により自宅や職場などさまざまな場所で視聴することを考慮し、受講期間を設けて開催することにした。講師の先生方にはあらかじめ講義内容を録画していただき特設サイトにアップ。視聴期間は14日間。受講者はこの期間中に各コンテンツを視聴し、最後に参加証明書をWeb上からダウンロードする形式とした。

当初、参加者が少ないのではと憂慮したが、最終的には県外からの参加も含め45人の参加者であった。視聴後のアンケート調査では、e-ラーニングでの開催に関して半数以上の参加者が満足と答えており、また「動画配信だと動画の一時停止や巻き戻してメモを取ることができるので、ゆっくりかみ砕きながら学ぶことができた」な



どの意見もあり、初のWeb開催としてはおおむね成功したのではないかとと思われる。

今後もこのようなWeb開催を企画・運営するに当たり、今回の経験は大変貴重なものとなった。

## 新潟県 (Web開催)

一般社団法人新潟県診療放射線技師会 副会長 成田 信浩

新型コロナウイルスの新規感染者数が過去2番目となった8月1日(土)、2020年度フレッシューズセミナーをWeb上で開催した。開催に当たりオンライン会議システムを契約したが、これにより参加人数や時間制限の解除、セキュリティの強化が図られ、事前のテストミーティングも設定したことにより、当日は大きなトラブルもなく開催できた。申し込みは県外も含め29人で、新人も過去最多の20人となった。最終的に全国から40人以上の参加があり、関心の高さがうかがえた。

本セミナーは、入会案内を含め10科目(ライブ7科目、録画3科目)を設定した。録画とはいえ優れた講師による講義は、参加者にとって大きなメリットであると感じた。またより実臨床に役立つ科目として「実際の検査について(CT)」を設定した。実検査科目へのニーズは高く、多くの参加者が有用であったと評価している。さらに「感染対策」については感染管理認定看護師に講師をお願いした。まさに現場で新型コロナウイルス感染防止対策に取り組んでいる生の言葉は、その緊張感とともに大きなインパクトを残した。

開催後のアンケートでも、コロナ禍中での開催に感謝の言葉が多く、学びたい、成長したいという気持ちに応えるセミナーを早期に開催できたことは、本当に良かったと感じている。



最後に、講師の皆さまには新型コロナウイルス対応で非常に多忙な中ご協力を頂き、この場をお借りして感謝申し上げます。また参加されたフレッシューズの皆さまには、今回学んだ多くの知識を生かし、誰からも信頼される技師を目指して日々精進していただきたい(掲載写真は終了後のオンライン打ち上げの様子)。

## 広島県

### 公益社団法人広島県診療放射線技師会

2020年8月30日(日)、フレッシューズセミナーが開催されました。本セミナーは日本診療放射線技師会と広島県診療放射線技師会が共同して新人診療放射線技師を対象に毎年開催しています。本年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年通り開催すべきか議論を重ねましたが、日本診療放射線技師会より7月に示された「会場型講習会開催ガイドライン(新型コロナウイルス感染対策)」に準じて、セミナー対象者が限定的であること、開催前の検温・体調確認、手指消毒の実施、一定時間ごとの換気の実施、密にならない広い会場、情報交換会の中止など対策を講じての開催としました。参加者は例年と同程度の21人となりました。講義は、患者さまとのコミュニケーション方法や感染対策、医療事故防止など医療者として身に付けなければならない内容、診療放射線技師として胸部単純撮影の復習や気管支解剖、

臨床で役に立つ救急CTについて分かりやすい解説がありました。また技師会の役割や活動についても詳しい説明がありました。受講者の皆さまは最後まで集中して学んでおられました。



質疑応答の様子

## 高知県

### 公益社団法人高知県診療放射線技師会 常務理事(学術教育担当) 中村 伸治

2020年8月30日(日)、高知市総合あんしんセンター3階 中会議室において、日本診療放射線技師会と高知県診療放射線技師会との共催により、2020年度フレッシューズセミナーを開催した。例年は本会会議室で行うが、新型コロナウイルス感染症対策として通常は100人収容できる中会議室で開催した。

初めに、午前10時より開講式(巴会長)を行い、10時10分からプログラム順に①医療安全(伊東副会長)②エチケット・マナー(高橋副会長)③医療コミュニケーション(山中理事)、昼休憩では、スタッフは中会議室、受講生には300人収納可能な大会議室で密にならないように昼食を取っていただいた。午後の部は④被ばく低減(大野理事)⑤感染対策(藤田理事)⑥気管支解剖(中村理事)⑦入会案内(巴会長)——と講義を行った。長丁

場だったが、深い話や趣味の話を交えて飽きのこない講義だった。閉講式では「修了証書と記念品」が巴会長より、受講された3人(下記)に授与され、午後4時40分に閉講した。本年度は県内新卒採用技師が少なかったようで、受講者が3人だったことが少し寂しく感じられた。

#### 《参加された方》

近森病院

岡村 貴仁 / 落合 智子 / 田所 未帆



# 2019年度 永年勤続表彰者

2019年度の永年勤続表彰者が発表されました。  
おめでとうございます。

## 50年勤続表彰

<b>宮城県</b> 島影義昭 千葉俊雄	<b>千葉県</b> 鳥海助 山岸忠好	<b>長野県</b> 横井憲明	<b>岡山県</b> 蜂谷泰俊 山本一雄	<b>山口県</b> 真田泰三 宗内隆義	<b>福岡県</b> 阿保昌公 福永逸雄 古田求	<b>鹿児島県</b> 中村純雄 富吉司
<b>福島県</b> 音高正明 片倉俊彦	<b>東京都</b> 石井勉	<b>愛知県</b> 河合恭嗣 田中文雄	<b>広島県</b> 斎藤彰 渡辺和美 簾畑聖太郎	<b>徳島県</b> 澁谷啓治 真貝勝忠 井関	<b>大分県</b> 筒井繁 春田隆昌	
<b>群馬県</b> 内田正夫	<b>山梨県</b> 竹野数馬 宮澤武夫	<b>京都府</b> 三木利晴 中川善夫	<b>鳥取県</b> 山本茂	<b>香川県</b> 楠原俊明	<b>宮崎県</b> 清永俊	計 35人

## 30年勤続表彰

<b>北海道</b> 羽根坂学 平田望 田卷茂和 渡辺直輝 常丸武敏 宮崎暢也 高橋隆夫 小倉利幸 秋谷悟 長谷川祐次 松田健一 武細川肇 小池豪	<b>宮城県</b> 榎田秀晴 加瀬谷明 久光満 奥山雅人 櫻中秀樹 長田悟二 須田光央 引地夫	<b>栃木県</b> 遠藤奈美 三原健二 中室智淳 篠原道太 芦崎幸一 小菅早智子	<b>千葉県</b> 稲見秀樹 竹島惠美子 松谷季能 秋葉浩文 佐藤公一 市川朋子 本柳賢一 渡邊典幸 石井照卓 高木卓	<b>神奈川県</b> 武笠祐士 小畑欣雅 中島倉秀 江川俊幸 伊藤今日一 田崎洋一郎 渡邊裕之	<b>山梨県</b> 舘田良仁 星野賢一 伊藤俊太	<b>長野県</b> 村松敏孝 片桐智子 坂戸武志 堤塚勝彦 大松科晴 保和木 青木宏志 小出直幸 小木口幸 仁科晃昌 宮下昌徳	<b>富山県</b> 山下英樹 田町明男 堀内裕二 森出村智朗 中川正樹 松島志津香 澤木福光	<b>福井県</b> 木下喜一 山崎一敏 上坂忠敏	<b>静岡県</b> 乙丸亨 佐藤正隆 岡村山親 中藤宏明 伊牧英克 津巧好雄 渡邊知由 上野由実	<b>愛知県</b> 鈴木雅彦 加藤弘美 川崎友彦 奥野秀雄 品田正樹 楠本敏文 倉田和一 島田敬章 永田勝利 池田秀樹 田淵康英 加藤茂弘 伊藤明弘 山水口智秀	<b>岐阜県</b> 小池和宏 西脇典幸 太田浩幸 安田英明 小野木光 桐山知巳 本川秀樹 恒川哲史 佐藤伸次 林邊正典
<b>青森県</b> 鶴賀谷正克 工藤幸清 小澤友昭 長利俊司 澤橋政美 宇野清雄 佐藤兼也 及川克紀 伊丸岡俊治	<b>福島県</b> 久保均 折笠秀樹 服部正人 阿部郁明 菅野徹一 八巻功喜 緑川喜雄 渡辺真也 清野清春 名城敦	<b>茨城県</b> 茅根弘和 黒羽克英 川島惠浩 鈴木昭一 増田光満 新井満	<b>群馬県</b> 町田利彦 森下光一 藤田克也 中村昌弘 飯塚知也 高橋雅彦 鍵山利公 根岸理光 平松理光	<b>東京都</b> 芳澤康徳 富澤弘至 武井泰一 名古屋安伸 今井康人 坪井秀明 問根山裕子 河内芳文 内山秀彦 柏田勝司 石田雄一 浅香崇夫	<b>山梨県</b> 舘田良仁 星野賢一 伊藤俊太	<b>長野県</b> 村松敏孝 片桐智子 坂戸武志 堤塚勝彦 大松科晴 保和木 青木宏志 小出直幸 小木口幸 仁科晃昌 宮下昌徳	<b>富山県</b> 山下英樹 田町明男 堀内裕二 森出村智朗 中川正樹 松島志津香 澤木福光	<b>福井県</b> 木下喜一 山崎一敏 上坂忠敏	<b>静岡県</b> 乙丸亨 佐藤正隆 岡村山親 中藤宏明 伊牧英克 津巧好雄 渡邊知由 上野由実	<b>岐阜県</b> 小池和宏 西脇典幸 太田浩幸 安田英明 小野木光 桐山知巳 本川秀樹 恒川哲史 佐藤伸次 林邊正典	

- 三重県** 落合三奈恵 西田康一 森下佳次 森田不二夫 藤川久元 刀根淳也 島田教良 石上之郷 園田伸一 清水重典
  - 奈良県** 野儀明宏 橋本和佳 大沢一彰 山本高広 上田義信 東田哲哉 新田昌己 改田龍彦
  - 和歌山県** 門阪泰之 林伸和 中岡弘隆
  - 大阪府** 塩谷充啓 田中秀典 塩村由美 添田雅義 田中貫志 鈴木賢昭
  - 兵庫県** 永尾剛 川端和彦 木下裕章 小野寺尚 亀井秀樹 笠原賢二 大塚義修
  - 京都府** 藤原康志 中川政幸 古谷充正 後藤哲也 成島忠重 杉原哲雄 平井靖徹 原口隆志
  - 岡山県** 菅田照也 和田安弘 宇野弘文 奥田圭一 吉田耕治 白岩英香 尾池政人
  - 広島県** 鈴木隆文 隅田博臣 松田和彦 縞居正人 林詠子 岩本光則 小土修司 笠井慎博 井上博文
  - 山口県** 松永千晶 大平知之 中村敬子 國司正昭 松尾浩昭
  - 香川県** 石森隆司 松原傑
  - 徳島県** 藤永井健一郎 川上直也 清水孝彦 小川勝規 齊藤稔生 伊藤行泰 藤井恭子 稲葉友敏 中上康次 森野晃二 山根和美
  - 鳥取県** 片山勇
  - 島根県** 古川春美
  - 高知県** 橋村貴之 高橋宏幸 水口和雄 柳本禎久
  - 福岡県** 中村芳子 萩尾清智 平井智久 室田浩介 安原章由 吉澤由子
  - 佐賀県** 廣瀬親修 轟木修
  - 長崎県** 河野真一 福重佳智子 井上秀成 岩田浩一 佐藤研久 近藤和久
  - 大分県** 堀田和幸 吉武貴康 江藤芳浩
  - 熊本県** 藤田清一 宮田貞司 西田和隆 福島敏和
  - 宮崎県** 井原喬裕
  - 鹿児島県** 濱崎誠行 馬場隆二 中島祐二 吉谷正浩 吉見公作 隈野純泰 井ノ上祐二 有蘭良一
  - 沖縄県** 奥浜正信 宮里孝之 野川隆之 内間勇人 前里吉一 池宮城健作
- 計 391人

## 2020年度レントゲン週間イベント(市民向けイベント)の紹介

INFORMATION

本年度の国会共催／後援のレントゲン週間イベント(市民向けイベント)が以下の通り開催されます。詳細は、各県(診療)放射線技師会にお尋ねください。

地域	都道府県名	日程	イベント名	会場	主催
東北	秋田県	11月7日(土)	医療放射線画像展2020	JR秋田駅ばほろ一ど	秋田県診療放射線技師会
近畿	兵庫県	10月15日(木)～11月15日(日)	2020年度レントゲン週間に伴う放射線展	Web開催	兵庫県放射線技師会

※静岡県(中日本地域)で10月25日(日)に開催が予定されていた「第11回可美公園まつり」は中止となりました。

## 投稿規程・投稿要領の改定について

INFORMATION

本会では、投稿規程・投稿要領の改定を予定しています。これまでは事務局への郵送により論文を受け付けていましたが、**2020年11月よりオンラインによる論文投稿システムに移行することが決定しました。**本システムにより簡便で迅速かつ確実性を増した論文投稿が可能となります。初めてご利用になる会員の皆さまにも分かりやすい形式になっています。

具体的な投稿方法については、会誌およびホームページでお知らせする予定です。診療放射線学および診療放射線技術の向上と発展のため、引き続き会員の皆さまにはご協力をお願い致します。

## 神様に与えられた試練



今回の新型コロナウイルス感染症は、世界がこれまでに経験したことのない事態を招いています。加えて日本各地では大規模自然災害が多発し、被災地では目に見えない敵と戦いながら復旧活動を強いられています。

国から提案されている「新しい生活様式」では「3密」状態を回避する方策が示されました。しかし、私たちの医療や保健の仕事は相手の顔を見て会話し、直接触れ合い、お互いの息遣いを感じながらすることを重要視してきました。「新しい生活様式」はこのような現場の行動様式に大きな転換をもたらす可能性があります。

そこで私たちには、社会・病院・職場の状況などの変化を見る目が求められています。自分のセンスを信じ、今創られているものをひとまず捨て、数年先を見据えながら新しいものを創

る必要があります。

そのためには、型あるもの（制度・体系・プログラムなど）にこだわらず、型なきもの（自分の体に身に付いたスキル）を大切にこの試練を乗り越えていくのです。

“型ある”ものはいずれなくなるものであり、“型なき”ものはいつでも自分の体から生み出すことができます。つまりは安心して型あるものにこだわらなくなります。

「神様は試練を乗り越えられない者には試練を与えてくれないのです」

組織は新しい人が入り動くとき、今までと違う動きが発生するので自然に生き生きとなるようです。

(文責：山本英雄)

## 結核研究奨励賞候補者の推薦について

INFORMATION

公益財団法人結核予防会より、本会へ結核研究奨励賞候補者の推薦依頼がありました。本賞は医療技術関係者の結核に対する関心を高め、結核に関する実践的研究を振興奨励するために設けられております。会員の皆さまの中に該当者がおられましたらご推薦いただきますようお願い致します。

- 該当職種：診療放射線技師、診療工ックス線技師
- 対象：結核に関する調査研究で優れた内容を持ち、原則として過去3年以内に学会、研究会、雑誌などに発表されたもの。1つの主題について、何年かに分けて発表されたものをまとめたものでもよい。
- 必要な書類：(1) 履歴書  
(2) ・学会または研究会で発表された研究については、発表原稿（または2,000字程度の抄録）とスライド原図、またはそれに相当するもの1部（コピー可）  
・雑誌に発表された研究については別刷り1部（コピー可）  
(3) 研究内容要約（研究課題名、発表者、所属、学会発表、研究会、雑誌名も含めて400字以内、A4版1枚）
- 締め切り：2020年10月31日（土）消印有効

## 2020年度 第1回認定資格試験は中止となりました

INFORMATION

2020年度第1回認定資格試験は8月30日（日）に埼玉県および大阪府で開催が予定されていましたが、**新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。**

当該認定資格試験は、医療画像情報精度管理士・放射線管理士・放射線機器管理士・臨床実習指導教員・放射線被ばく相談員のための試験であり、全国で約500人の皆さまにお申し込みいただいております。

受験予定の皆さまにおかれましては、中止によりご迷惑をお掛け致しましたこと、深くおわび申し上げます。

受験料の返済については事務局で順次対応しております。

なお、2020年度第2回認定資格試験についても、慎重な検討の上、皆さまにお知らせすることとなります。

今後ともご理解のほどよろしくお願い致します。

# 10月・11月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

■ 画像等手術支援認定診療放射線技師認定資格試験：全国9会場 10月25日(日) 【中止】

■ 診療放射線技師のためのフレッシュアップセミナー：愛媛 10月3日(土) 兵庫 10月10日(土)

■ 放射線取扱主任者定期講習：東京 10月30日(金)

■ 「看護学」(実習)講習会：京都 11月21日(土)

■ 医療放射線安全管理責任者講習会：東京 第4回：11月22日(日)

東京 第5回：11月23日(月・祝)

※新型コロナウイルスの感染状況により、開催中止または開催方法が変更になる場合があります。

# ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

■ 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/schedule.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html)

■ 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/ib0rgt000000603l.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt000000603l.html)

# 会員情報システム (JARTIS) 更新に伴う「会費・受講料等の支払い方法」の変更について(おわび)

APOLOGY

本会ではこれまで、「会員の皆さまの会費・受講料等の支払いの利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化に向けた取り組みを推進する」として、8月初旬の新JARTIS稼働に併せて、従来の方法に加え、これまでご要望の多かった「クレジットカード払い」ができるように変更すると、「Network Now」他でご案内してまいりました。

しかしながら、「会費納入」につきましては、9月30日(水)の納入期限が間近であることに加え、JARTISを利用される方の約6割が未登録等の状態であることから、混乱を避けるため「クレジットカード払い」への対応を延期することと致しました。

クレジットカード払いをご利用予定の皆さまにおかれましては、大変申し訳ございませんでした。

なお、「受講料等の支払い」につきましては、10月1日(木)より、コンビニ払込票払い・コンビニペーパーレス払いと併せて、「クレジットカード払い」が可能となったことを申し添えます。

公益社団法人日本診療放射線技師会 財務委員会・事務局

	払込不可	～9月30日	10月1日～
会費納入 納入期限 9月30日	・旧払込票 (7月9日以前に発行されたもの)	・新払込票 (8月10日以降に発行されたもの)	
受講料	・旧払込票 (7月9日以前に発行されたもの)	・新払込票 ・コンビニペーパーレス (8月10日以降に発行されたもので有効期限内のもの)	・新払込票 ・コンビニペーパーレス (8月10日以降に発行されたもので有効期限内のもの) ・クレジットカード

事務所案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。  
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。